

現状と課題

◆ 県立学校のICT機器整備状況(R3年度末)

ICT機器	整備状況
無線LAN(Wi-Fi)	全県立学校で整備済
大型提示装置	※ 高校の1人1台端末は 公費7割、BYOD3割
1人1台端末	

市町村立小中学校でも1人1台端末を整備済

小中高の全てで1人1台端末環境が実現

◆ 学校における情報化の実態調査(R3年度文科省)

ICT活用状況	岩手県	全国
統合型校務支援システム整備率	39.5%	81.0%
教員のICT活用指導力	69.0%	75.3%

⇒ 教員のICT活用指導力の向上は継続課題

◆ 全国学力・学習状況調査(R4年度文科省)

児童生徒への質問		岩手県	全国
前年度までに受けた授業でタブレット等を週3回以上程度使用したか	小	37.9%	58.2%
	中	35.0%	50.9%

◆ 大学等と共同で実施した「いわて学びの改革研究・普及事業」(R2~4)が終了

⇒ 実践事例と研究成果の横展開が必要

◆ ICTの活用が目的化してしまう懸念

⇒ 指導主事による授業改善等との一体的な取組が必要

子どもたちに情報活用能力を含む学習の基盤となる資質・能力を育成していくための授業を推進する仕組みづくりが必要

子どもたちに必要な情報活用能力を含む学習の基盤となる資質・能力

知識及び技能

- ・キーボード入力などの基本的操作
- ・インターネット等の情報検索
- ・情報モラル等の理解 など

思考力判断力表現力等

- ・必要な情報を収集、整理、修正、表現する力
- ・新たな意味や価値を創造する力 など

学びに向かう力、人間性等

- ・多角的に情報を検討しようとする態度
- ・情報社会に参画しようとする態度 など

R5の具体的な取組

1

「GIGAスクール運営支援センター」を核としたICT活用推進の全県展開

【センター、DXリーダー、指導主事連携費】 R5予算:31,077千円 (R4:83,846千円)

R4~ 拡充



GIGAスクール運営支援センター

- ◆ ヘルプデスクと学校訪問等  
希望する市町村と連携して学校をサポート
- ◆ ICT活用推進員の認定  
地域単位等でICT活用を普及する教員を認定
- ◆ アドバイザーの派遣  
学びP研究に携わった大学教員等をアドバイザー派遣



学校DX支援リーダー

連携・調整

県・市町村の指導主事

- ◆ 効果的な活用事例の共有等
- ・効果的な活用事例のクラウド等での共有
- ・育成すべき情報活用能力等を踏まえた指導・助言



ICT(デジタル)とこれまでの実践(リアル)の最適な組み合わせによる授業づくりを全県展開



2

全県統一の統合型校務支援システム R4~

- ◆ R6運用開始に向け、R5中に R5予算:51,424千円  
全県統一のシステムを構築 (R4:1,078千円)

【システムの導入効果】

- ・成績や健康状態などのデータを一元管理でき、全県統一により、小中高が連携した質の向上が可能

データ連携

3

ICTを活用した健やかな体の育成 R4~

- ◆ 「運動」「食」「生活」習慣を支援する R5予算:2,333千円  
健康づくりサポートシステムの検討 (R4:3,012千円)

4

STEAMの視点による探究的な学びの深化 新規

- 【推進校(県立高校) 9校】 R5予算:16,425千円

- ◆ 探究的な学びをSTEAMの視点から深め、データの収集・分析・利活用に基づく課題解決型学習を推進



5

遠隔教育の推進(COREハイスクール) R3~

- R5予算:4,775千円 (R4:5,664千円)

【県立高校 5校】

- ◆ 配信拠点(総合教育センター)からの小規模校における遠隔授業を実施

